



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL https://fusokk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,642	△22.2	3,194	△31.9	3,727	△30.5	2,454	△33.0
2023年3月期第1四半期	17,544	36.7	4,693	39.2	5,363	58.9	3,662	63.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,266百万円 (△28.4%) 2023年3月期第1四半期 4,563百万円 (99.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	69.63	—
2023年3月期第1四半期	103.90	—

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

2024年3月期第1四半期 4,180百万円 2023年3月期第1四半期 5,677百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	124,355	89,606	72.1	2,542.48
2023年3月期	113,528	87,502	77.1	2,482.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 89,606百万円 2023年3月期 87,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	33.00	63.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	33.00	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	33,600	△5.0	7,100	△25.9	7,100	△34.0	4,850	△35.5	137.61
通期	69,300	1.2	13,800	△27.1	13,800	△30.1	9,450	△33.1	268.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

第2四半期 (累計) 10,150百万円 (△12.7%) 通期 21,700百万円 (△6.7%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	35,511,000株	2023年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	267,502株	2023年3月期	267,466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	35,243,530株	2023年3月期1Q	35,243,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) その他	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、欧米においてはエネルギー価格を中心としたインフレが継続しています。インフレに対応した金融引締め政策が継続する環境下で、米国経済は堅調に推移しましたが、欧州経済は低迷しました。中国経済は、コロナ禍からの回復が期待されましたが、期待された程の回復には至りませんでした。日本経済は、コロナ禍から経済活動の正常化が進み、回復傾向で推移しましたが、円安等による物価の上昇が続いており、先行き不透明な状況は継続しています。

当社の事業環境としては、食品関連市場では、円安等による物価上昇などの影響がありましたが、底堅く推移しました。半導体市場では、将来的には、AI等の成長分野で需要増加の期待があるものの、足元ではパソコンやスマートフォン等の最終製品の需要減少の影響が大きく、低迷しました。

このような情勢下、当社グループは成長を維持するため、顧客やユーザーとのコミュニケーションを深め、営業活動の強化に努めました。また、完成した新規設備の早期立上げを進めるとともに、既存設備の維持・強化を継続し、供給力の拡大を図っています。さらに、研究開発体制を強化し、新製品開発の取り組みも継続しています。加えて、就業環境や社内体制の整備等を推進し、経営基盤の一層の強化にも取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,642百万円（前年同期比22.2%減、3,901百万円減）となりました。利益面では、営業利益は3,194百万円（同31.9%減、1,498百万円減）、経常利益は3,727百万円（同30.5%減、1,635百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,454百万円（同33.0%減、1,207百万円減）となりました。

売上高、営業利益は、後述の各セグメントの要因により、ライフサイエンス事業では減収増益、電子材料および機能性化学品事業では減収減益となり、連結全体では減収減益となりました。経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差益が減少したことにより、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少に加え、投資有価証券売却益の減少、固定資産除却損の増加により、減益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

（ライフサイエンス事業）

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が8,532百万円（前年同期比10.1%減、956百万円減）、営業利益は1,714百万円（同8.1%増、129百万円増）となりました。

主力製品のリンゴ酸は、半導体市場低迷に端を発した工業用途の需要減退の影響を受け、海外市場での売上が減少しました。また、日本市場においても同様の影響を受けました。その他の製商品も工業用途の需要は国内外で低迷しました。食品関連市場の需要は底堅く推移したものの、セグメント全体の売上高は、前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益は、売上高減少や、エネルギー価格の上昇によるコストアップの影響があったものの、原料価格、輸入価格の低下や、適正な利潤を維持するための価格改定の効果もあり、前四半期連結累計期間を上回り減収増益となりました。

（電子材料および機能性化学品事業）

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が5,109百万円（前年同期比36.6%減、2,945百万円減）、営業利益は1,963百万円（同45.1%減、1,615百万円減）となりました。

半導体市場は、各半導体メーカーにおいて半導体の微細化等の最先端分野での開発は継続し、設備投資は継続しているものの、パソコン、スマートフォン等の最終製品の需要が低迷し、足元の需要は大きく落ち込んで推移しました。当社主力製品の超高純度コロイダルシリカは、コストアップ要因に対する販売価格改定や円安効果などの増加要因はありますが、半導体市場低迷の影響を大きく受け、売上高は減少しました。在宅勤務の普及によるトナー需要減退の影響を受けていたナノパウダーの需要は回復し、機能性化学品分野では、売上高は増加しましたが、セグメント全体の売上高は、前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益は、売上高の減少に加え、エネルギー価格の上昇や新規設備の立上げにかかる費用等のコストアップ要因により、前四半期連結累計期間を下回り減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,826百万円増加し、124,355百万円となりました。これは主に、現金及び預金、商品及び製品、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、建設仮勘定が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末に比べ8,723百万円増加し、34,749百万円となりました。これは主に、設備関係未払金が減少しましたが、長期借入金が増加したためです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,103百万円増加し、89,606百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加に加えて、円安により為替換算調整勘定が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想から変更はありません。

(4) その他

(重要な設備の新設等)

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等のうち、当第1四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資額		資金調達 方法	着手 (年月)	完了 (年月)
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロイダルシリカ 製造設備および付帯設備	19,776 (注) 2	16,333 (注) 1	自己資金	2021年8月	2023年4月 (注) 3

また、当第1四半期連結累計期間に変更があったものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手 (年月)	完了 (年月)
扶桑化学工業(株) 京都事業所 (京都府福知山市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロイダルシリカ 製造設備および付帯設備	10,000	3,398	自己資金	2022年8月	2024年4月
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロイダルシリカ 製造設備および付帯設備	20,000	6,149 (注) 1	借入金	2023年9月	2025年7月

(注) 1. 既支払額を変更しています。

2. 当初予定総額18,000百万円から変更しています。

3. 製造設備は2023年4月に完成しましたが、本稼働時期は2023年8月を予定しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,412,586	30,392,449
受取手形及び売掛金	14,968,781	13,409,261
商品及び製品	11,880,482	13,379,074
仕掛品	691,534	779,711
原材料及び貯蔵品	3,468,641	3,918,334
その他	936,534	1,377,678
貸倒引当金	△14,513	△12,473
流動資産合計	55,344,047	63,244,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,418,074	10,318,616
機械装置及び運搬具（純額）	6,240,614	6,748,404
土地	6,913,458	6,924,283
建設仮勘定	30,938,084	32,430,321
その他（純額）	791,270	802,405
有形固定資産合計	54,301,501	57,224,030
無形固定資産	1,346,426	1,263,451
投資その他の資産		
投資有価証券	691,304	776,274
長期前払費用	366,419	339,064
繰延税金資産	1,173,700	1,097,471
退職給付に係る資産	102,262	94,674
その他	203,209	316,756
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,536,896	2,624,240
固定資産合計	58,184,824	61,111,721
資産合計	113,528,872	124,355,756

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,294,849	3,511,921
未払金	1,983,822	2,144,744
設備関係未払金	13,775,370	4,363,526
未払法人税等	3,301,849	1,153,123
賞与引当金	690,054	347,033
役員賞与引当金	71,800	22,910
修繕引当金	356,024	280,704
その他	434,899	771,072
流動負債合計	23,908,669	12,595,035
固定負債		
長期借入金	—	20,000,000
繰延税金負債	191,191	207,601
退職給付に係る負債	1,624,715	1,651,597
資産除去債務	27,974	27,974
長期設備関係未払金	167,408	163,715
その他	106,088	103,691
固定負債合計	2,117,377	22,154,580
負債合計	26,026,047	34,749,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	76,183,899	77,475,030
自己株式	△1,112,711	△1,112,857
株主資本合計	84,225,957	85,516,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,739	266,390
繰延ヘッジ損益	△3,019	16,890
為替換算調整勘定	3,091,146	3,805,916
その他の包括利益累計額合計	3,276,866	4,089,197
純資産合計	87,502,824	89,606,140
負債純資産合計	113,528,872	124,355,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	17,544,083	13,642,185
売上原価	10,509,230	8,082,998
売上総利益	7,034,852	5,559,186
販売費及び一般管理費	2,341,770	2,364,775
営業利益	4,693,082	3,194,411
営業外収益		
受取利息	6,918	75,139
受取配当金	7,085	6,404
為替差益	647,403	485,526
その他	12,615	8,342
営業外収益合計	674,023	575,413
営業外費用		
支払利息	—	22,587
支払手数料	1,974	—
減価償却費	898	304
投資事業組合運用損	953	18,462
その他	—	1,141
営業外費用合計	3,826	42,496
経常利益	5,363,279	3,727,328
特別利益		
固定資産売却益	—	1,693
投資有価証券売却益	71,218	12,100
特別利益合計	71,218	13,793
特別損失		
固定資産除却損	2,774	37,586
特別損失合計	2,774	37,586
税金等調整前四半期純利益	5,431,723	3,703,535
法人税、住民税及び事業税	1,740,160	1,217,313
法人税等調整額	29,501	32,054
法人税等合計	1,769,662	1,249,367
四半期純利益	3,662,061	2,454,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,662,061	2,454,167

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,662,061	2,454,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,123	77,650
繰延ヘッジ損益	11,060	19,909
為替換算調整勘定	998,169	714,770
その他の包括利益合計	901,106	812,330
四半期包括利益	4,563,167	3,266,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,563,167	3,266,498
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,431,723	3,703,535
減価償却費	984,852	985,739
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△684	△2,988
賞与引当金の増減額（△は減少）	△265,510	△345,060
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△33,800	△48,890
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	26,967	34,322
修繕引当金の増減額（△は減少）	△50,740	△75,320
受取利息及び受取配当金	△14,004	△81,544
支払利息	—	22,587
為替差損益（△は益）	△422,263	△426,476
投資事業組合運用損益（△は益）	953	18,462
固定資産売却損益（△は益）	—	△1,693
固定資産除却損	2,774	37,586
投資有価証券売却損益（△は益）	△71,218	△12,100
売上債権の増減額（△は増加）	△1,145,575	1,706,937
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,189,448	△1,828,091
仕入債務の増減額（△は減少）	107,442	150,744
未払金の増減額（△は減少）	138,656	130,653
その他	△43,481	△222,363
小計	3,456,642	3,746,041
利息及び配当金の受取額	11,380	77,865
利息の支払額	—	△7,655
法人税等の支払額	△3,204,570	△3,292,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	263,452	523,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△130,865	△1,080,609
定期預金の払戻による収入	—	138,743
有価証券の売却による収入	130,995	10,894
有形固定資産の取得による支出	△4,409,067	△12,894,234
有形固定資産の売却による収入	—	1,693
無形固定資産の取得による支出	△9,817	△81,364
投資有価証券の取得による支出	△749	△2,469
投資有価証券の売却による収入	98,112	12,100
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△8,147	△130,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,329,540	△14,026,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	20,000,000
自己株式の取得による支出	—	△145
配当金の支払額	△1,045,432	△1,149,530
リース債務の返済による支出	△2,111	△2,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,047,544	18,847,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	747,998	610,636
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,365,633	5,956,460
現金及び現金同等物の期首残高	23,460,102	22,350,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,094,468	28,307,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,489,373	8,054,709	17,544,083	—	17,544,083
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	9,489,373	8,054,709	17,544,083	—	17,544,083
セグメント利益	1,585,614	3,579,068	5,164,683	△471,600	4,693,082
減価償却費	350,436	598,541	948,978	35,873	984,852

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△471,600千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,532,801	5,109,383	13,642,185	—	13,642,185
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	8,532,801	5,109,383	13,642,185	—	13,642,185
セグメント利益	1,714,735	1,963,873	3,678,609	△484,197	3,194,411
減価償却費	340,761	603,965	944,726	41,012	985,739

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△484,197千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。